



北海道日高高等学校

〒055-1130 北海道沙流郡
日高町松風町一丁目一六番地の二
<http://www.hokkaido-hidaka-hs.jp/>



令和元年の結びにあたり

北海道日高高等学校校長

町田英謙

日高町の寒さも、日に日に厳しく感じられる季節となりました。

今年度は、新しい元号『令和』の始まりの年であり、日本国民が新しい歴史の一頁に期待を胸を膨らませた記念の年でもありました。一方、全国的な台風被害により、各地で甚大な被害がありました。被災された方々のご冥福をお祈り致しますとともに、一日も早い復興・復旧を願ひ、心からお見舞い申し上げます。

さて、令和二年(二〇二〇年)は、日本でオリンピックが開催される年であり、当初は首都である東京開催となつており、配慮して、この北海道(札幌)でもスポーツの祭典が開催されることとなりました。

互いを認め、素晴らしい時間を過ごし、真剣に向かい合っているからこそ、夢や希望、感動が生まれます。このことは生徒達の学校・産業学習と高校寮での生活とも通ずるところがあるのではないかと思います。

大きな変化の中で、人としてどのように生きていくのか、生徒達のように成長を見守っていかなくてはならないと、日々の成長の幅はありますが、個々の成長の幅はありますが、着実に一歩前進している姿が見受けられます。そして、日は大い自然の中で、大都会で、高みきつた水音、雄大な山々で生徒達も勿論ですが、私も含め、人としてのエネルギーをこの環境から貰い受けているように感じます。

地域・学校が協力して未来有望な生徒達の成長のために、地域社会との協働体制を推進し、教育活動の充実を図っているところでは、これからは本校及び産業学習の活動に、ご支援・ご協力をお願い申し上げます。



1年・数学I プログラミング体験の様子

保護者や地域の皆様においては、これからは本校及び産業学習の活動に、ご支援・ご協力をお願い申し上げます。二十五日間の冬季長期休暇となり、生徒達はそれぞれの都府県、道内の各地域に里帰りの大きき成長した姿をご覧になり、三学期のエネルギーを充電していただき、令和元年最後のご挨拶と致します。今後ともどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

第二回いじめ把握のためのアンケート調査を終えて

教頭 近藤 伸

1 全国・全道における調査結果

文部科学省の「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」によると、二〇一八年度に認知されたいじめは過去最多の54万件を超え、いじめ防止対策推進法(二〇一三年)が施行されて以来最多の件数が認知されています。

北海道の状況は、本年四月から九月末日までのいじめ件数が7664件で増加傾向にあり、積極的ないじめの認知が進んでいる状況があります。

2 いじめの把握のためのアンケート調査結果

第一回「いじめの把握のためのアンケート調査(六月五日実施)」に引き続き、全校生徒に対し記名式アンケート用紙を配布し、各自が記入、翌日回収するという方法で、一斉に実施しました。(十月三日実施)

るなど)のようなことをされる嫌な思いをしたことがあるか」との質問に対して、生徒から状況確認を要する回答がありました。今回の調査では「嫌な思いをしたことがありません」という回答はありませんでした。

3 今後に向けて

近年、インターネットやSNSによる誹謗中傷などによる「ネットいじめ」が問題視されています。SNSを用いたいじめは、閉鎖的な空間で行われるため外部から見えずらく、匿名性が高いため、いじめを学校が認知しきれない可能性があります。このような現状を踏まえ、本校教職員はいじめの問題に対して早期発見・早期対応に努め、組織的な対応、被害生徒の庇護、問題に適切に対応できる力を身に付け、生徒の自己実現を支援するために取り組んで参りますので、今後ともご理解とご協力をよろしくお願い致します。

PTA研修会を終えて

十月二十七日(日)、日高町民文化祭の日程に合わせて「PTA研修会」が開催されました。当日は計十一名の保護者・ご家族の皆様に参加していただきました。

まず午前中に授業参観が行われました。一年生「現代社会」、二年生「数学」、三年生「英会話」の授業を参観していただきました。

続いて行われた産業学習の授業参観では、アスリートコースはトレーニングを、キャリアコースは前期のまとめの授業を参観していただきました。生徒は多くの保護者・ご家族に見守られながら緊張しつつも張り切って授業に取り組んでいました。特に一年生の保護者の皆様には、半年間でたくましく成長した姿を見ていただくことが出来たのではないのでしょうか。

授業参観の後には、各学年で昼食会が開かれ、生徒の様子について情報共有することができました。

午後からは学校ホールで、北海道大学准教授 池田 文人様による講演「ぞっとするのは親か子か？」を聴講し、有意義な時間を過ごすことができました。

全体会に引き続き、各教室において保護者懇談会が行わ



行われ、高校・産業学習それぞれの担任と日高での生活の様子や今後の進路について話し合い、実りのある時間となりました。

夕方からは、日高町文化協会主催の日高町民文化祭に本校生徒が参加し、町民や保護者の皆様の前で、各学年ごとに「日高山岳太鼓」を演奏しました。また個人で日本舞踊を披露した生徒もあり、会場を盛り上げていました。

遠方より多くの保護者・ご家族の皆様にご参加いただきありがとうございます。今後とも本校PTA活動にご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

(文責 坂本 佳子)

写真部全道大会 結果報告



十月十六日から十八日にかけて、室蘭市にて写真部の全道大会が行われ、本校からは入選と佳作に選ばれた三年生合計四名が参加しました。

作品として展示されたのは入選のみでしたが、三年・菊池さんの『転んでもタダでは起きない』という、三枚の組写真作品が佳作に選ばれ表彰を受けました。作品の講評を聴く場面では、撮影者だけでなく他の三年生も講師の方の説明やアドバイスを熱心に耳を傾けていました。

いつぼう、その後の撮影会では好天に恵まれ、室蘭市内の名所や街角を周っては熱心にシャッターを押す姿が見られました。

生徒たちには、この大会で得たことを生かし、来年度もまた(全道大会の会場は稚内市を予定)写真に興じ、親しみ、熱中して欲しいと考えています。

(文責 西村 元志)

高文連 第43回全道高等学校写真展 佳作 『転んでもタダでは起きない』



2年・家庭科 かぼちゃコロッケを作りました

期末考査直前！結果は...

国道沿いで安全運転を呼びかけました

2学期の思い出